

# ポケットジャーナル



## ★小磯良平画伯 迎賓館

### 〈赤坂離宮〉の壁画完成

このたび迎賓館〈赤坂離宮〉が改装され、小磯良平画伯が200号の壁画二枚を製作、納められた。

若者の群像を描くこの大作は日本を訪れる賓客を歓迎するにふさわしく、納入に先立ち、三月二十三日から二十七日まで東京京王梅田画廊にてエスキース四〇点とともに展覧、一般公開された。

## ★プロ・リ(ヒマラヤ)を

### めざす社会人登山隊

社会人の山岳団体クラブ雲峰のヒマラヤ登山隊がこのほど結成され、7月24日の出発をめざして準備に追われていた。隊員12名(隊長藤田博さん)で、サラリーマンや自営業と職業はさまざまでも、飯よりも山の好きな人達ばかり。

目標は、ネパール・ヒマラヤ、マハラングール山群プロ・リ(七、一四五m)で、未開拓の西壁側から登

さん(兵庫区水室町2丁目24ノ39 ☎5117084)が、5月27日(月)神戸文化ホール中ホールで「望月美佐リサイタル」(午後・午後の2回入場券二〇〇〇円)を開く。

「3年間に廻った外国での書のデモンストレーション、幼児教育のショー、舞台でのショーなどから、何百人の観衆を集め文字を書くと、机上での静から動への面白さがあると思ひ、今回、書の良さを犯さず、現代に生きる動の書を、わかりやすくやってみたいの、ぜひご覧下さい」と意欲満々。演出・山田元彦/音楽・平吉毅州/振付・中村万策・灰原明彦/美術・板坂晋治/照明・林恵介/映像・正木信之/衣裳・前田親男・藤本ハルミ/舞台監督・鈴木みつを/進行・岡田美代。出演者は、望月美佐、中村万策、灰原明彦、藤倉推峰・呂悦・寿洗/花柳芳恵一子/今岡頌子/岩崎加根子のほかに栄いづみ・伴淳三郎の出演が予定されている。

連絡先は、神戸市垂水区南多聞台6丁目1の97、TEL ☎7823015高木稔さん。

## ★「動」の書を見せる

### 望月美佐リサイタル

このところ海外での活躍めざましい書家の望月美佐



活躍めざましい望月美佐さん

## ★美しい清涼系アニメ映画

### 自由な空想から生まれた

奇抜な形象と奔放な動きが飛びまわる画面、アニメーション映画は詩的でファンタジックなメルヘン。

60年の生涯をアニメ映画ひとすじに生きた大藤信郎

## 誕生日 ありがとう 運動



## ★誕生日ありがとう運動

九周年を迎える  
昭和四十年五月八日、神戸市長田区の室内(むろろむ)小学校の特殊学級を母体にして発足した、精神薄弱児問題の社会啓発を目的とする「誕生日ありがとう運動」はこの五月で九周年を迎えました。

地元神戸のみならずあまたかいご声援ご協力に對して、心から厚くお礼申あげます。本運動は、誰にでも年に一度めぐってくる誕生日を機会に、精神薄弱問題を自分の問題として主体的に考えていこうという精神運動です。

ボランティアによって運営推進され、「細く長く」を運動のモットーとしていきます。「神戸っ子」の愛読者のみなさまのご協力を、あらためてお願いいたします。なお本運動では、九周年記念行事として左の行事をいたします。

○五月十日(金)午後十二日(日)

○展示内容

重症心身障害児施設に働く職員の実態を訴える写真展

みなさまぜひごらんください。

## ★誕生日ありがとう運動とは

精神薄弱児問題の啓発運動です。誕生日のお祝いの中から意識的に百円節約して献金する。各家庭でこの問題について話し合う機会をもつ。

このことを手がかりとして、わたしたちがすべてが精神薄弱児(者)とあたたく包む雰囲気をはげめると同時に、「ひとりひとり」のかけがえのない生命について思いをめぐらせ、年に一度の誕生日を有意義にしよという運動です。

## 誕生日ありがとう運動本部

神戸市東区御通八の九の一  
神戸国際会館二階(郵便局の前)  
(二五)八一六一内線316



うという、ブライダル専科教室が現われた。

これは神戸でお作法教室を開いている紫水遠州流家元西田祥風さんが、このほど新たに開いたもの。内容は言葉、あいさつ、動作、訪問などのマナー、煎茶道、茶花、抹茶、きもの、台所の知恵、救急知識と日常のなかの多岐にわたったもので月四回、期間は一カ年。神戸っ娘たちに、京おんなのしつけが優雅に受けがれるかどうか。

・家元教室 431-0419  
・サントア教室 331-1802

### ★ある都市議員の告発

「自民党よどこへ行く」  
サラリーマンこそ国の担い手と、兵庫一区選出の自

民党石井一衆議院議員(40)が、四月十五日日本生産性本部より「ある都市議員の告発」(自民党よどこへ行

た。(六八〇円)を発刊した。35歳で国会に出ていらい5年間、神戸での選挙戦の内容を変えたといわれる石井氏の0からのスタートや、サラリーマン出身代議士として自民党の内部革新を計り、六千万サラリーマンのための政治をと熱っぽ

### ★やきものふるさとを訪ねる本

私は、やきものというものの存在を自分のくらしの中に置き、それを仲立ちとして、くらしを考えてみたいと思っている。幸せ

ありそれぞれがほとんどフルに動いている。どれほど立派なホールをもっているにしてもそれが上手に運営されないと全く意味がない。ほどよく活用されてこそ真価が発揮されるのである。

それぞれの文化ホールが開館されてからの運営に携わる人たちの頑張り

の結晶なのだと思う。門外漢ではあるが、元来文化的な芸術的な彩りの濃い催し物というのは企画当事者の努力とか想



「やきもの旅」

とは、美しいこととは、豊かということとは、どんなことなのだろう——そんな原点を求めてやきものの旅に出たという宮崎修二郎さん(神戸新聞記者)の「やきもの旅」が保育社のカラーブックスから出版された。プームといわれるやきものだが、くらしの中の美しいものを愛する著者の目と心が清々しい。

保育社カラーブックス290「やきもの旅」一五二頁。三八〇円。

が少なく赤字を出したりするものであるということは想像がつく。

大変な仕事であることが、神戸の文化のために力をつくっていただきた

神戸の人たちが国際的な水準のある催しになんとしても馴染みたい。どんなに無理をしてもその芸術にひたりたいという習性が生れて来るまで頑張っしてほしい。

〈Y〉

## 花時計



### ★文化に馴染む

最近、文化芸術の催し物がめっきり増えた。しかも、いろいろな催し

## KOBE POST

★中西勝画伯の新居が完成。モロツコから来神中のモハメット君は5月11日に帰国とのことです。

★神戸出身のニットデザイナー・菱砂丘子さんがブティックSUNAKO・HATAを原宿のPALAIS・FRANCEの5階に(東京都渋谷区神宮前1-16-1東郷文化会館03405-9639)にこの春より開かれていきます。

ニットのオートクチュール作品は非常にユニークで、プレタ商品もおかれています。上京の節はお立寄り。

★ニットの都あきさんが須磨へ移転されました。新住所は須磨区衣掛町3丁目一番二十三号 どんわ(〇七八七三一七七〇九)です。

★水墨画の松本泰山氏は外務省の文化交流のため海外へ。オーストラリア、ニュージーランドで水墨画の紹介、デモンストレーション、講演、個展を開き5月4日に帰国。

★ザ・フアッショングループのアメリカにおけるJAPAN・SHOWの成果をと、記録映画と報告の会が、3月22日大阪錦糸会館7階で開かれました。

★ニッカイウスキー神戸営業所の岩瀬正彦さんが、広島へ栄転されました。

★三宮そごう宣伝部の舟坂正義さんが「広島そごう」の販売推進課へ栄転され新住所は、広島市基町11ノ10千代田生命ビル地下一階(21)三九二七

★神戸新聞の阪神支局長の有井基さん、本社会部次長に栄転されました。社会部長は田中忠さん。

★5月25日(土)六時半から辻久子さんが西宮市民会館大ホールでバイオリンコンサートを開かれ、純益は心身障害児の福祉に使用されます。お問合せはTEL〇七八一八二二一八四三九へ

# 半又の鮎



神戸三宮生田ノ社ノ西 電話(331)0935

おすし  
てんぷら



# 榮彌



営業時間  
A.M.11.30~P.M.9.00

本店 大丸前・三宮神社東  
TEL(331)5772

支店 さんちか味ののれん街  
TEL(391)5233  
(第3水曜日休み)

## GREEN KOBE SHOPPING



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

# 三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

★ちゃんこ鍋でモリモリ力を  
★とにかく遠慮はせずに  
ダイナミックに食べよう!

さんちか味ののれん街

# 西味悟

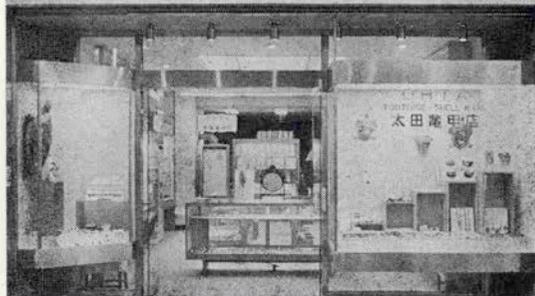
営業時間 11:00AM~9:30PM  
定休日 第三水曜日  
☎ (078)391-5319

高級紳士服専門店  
神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL (391)0388  
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL (331)2817・3173

太田鼈甲店



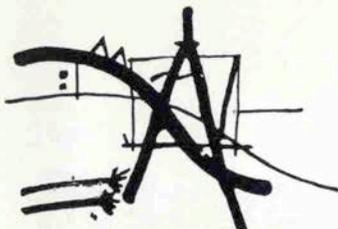
べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

GREEN KOBE SHOPPING

額縁絵画・洋画材料  
室内工芸品



末積製額 三宮・大丸北  
トア・ロード 331-1309・6243



水あそび  
そのおもちゃが  
そろいました

おもちゃの  
カメヤ



さんちか店 ファミリータウン 391-4045  
三宮店 市街地改造のため仮店舗にて営業中  
元町店 元町通3丁目山側 331-0090  
パンプウ店 元町通1丁目不二屋前 391-0768

連載小説

# また遅くない

葉月一郎  
え・小西保文



あらすじ 昭和四十五年秋―。毎朝新聞神戸支局は、地元の大手企業  
兵庫製鉄の公害キャンペーンに乗り出した。仕事に意欲を失っていた戸  
波峻記者も、情事の相手であるバーの女ユカ力の被害を目撃して、参加す  
る。  
リーダーの石津支局長は兵鉄の和久井社長らとの会見記を計画。兵鉄  
側は毎朝新聞の切り崩しを同時に進める条件つきで、会見に応ずること  
になる。戸波は、かつて危うい所を助けた兵鉄秘書課の細川亜紀子か  
ら、こうした社内情報を入手するが、そのとき夜の須磨海岸でキスして  
しまう。  
取材は工場に近い住民を相手に進み、警屋の金原祐介から被害の実  
態を知らされる。一方、石津支局長が、ひそかに兵鉄幹部に接近してい  
る気配があり、戸波の疑惑は深まる……。

## 〈8〉密告者

支局の階段を、かけ上がるように昇った。

夕暮れどきは、ちょうど一斉に朝刊用の原稿が出はじ  
めて、軽い午睡から醒めたあのような活気がわき上が  
るのが常だ。

その活気の向こうに、石津支局長の細い眼がみえた。

「おい、戸波君」

まるで機先を制すように支局長が手招きする。

一瞬、ひるみかけながら騎虎の勢いで突き進む。疑惑  
を一気にぶっつけようとする鼻先で細い眼が光った。

「和久井社長が、おれたちの会見に応ずるといつてきた。  
あさって午後一時や。よろしくたのむで」

それは亜紀子に聞いて知っている。それより、なぜ支  
局長は……

「なんや。ケロツとしとるな。武者ぶるいくらい、せん  
かい」

「支局長」

「う？ なんや」

「支局長は、きょう、兵庫製鉄へ行ってきましたね。なに  
か用事、あったんですか」

「用がないと、行ったらいかんのか」

面倒くさそうな顔付きで、支局長はソファに体を沈め  
る。ジロツと上目づかいに戸波の視線をはね返す。

「これで三遍目かな。きょうは返事を聞きに押しかけた  
んや」

「食事も一緒にされたんでしよう。この前のときは……」  
露骨に、とがめ立てする眼になった。

ノドの奥で、支局長はかすかに笑った。

「ああ、食ったでえ。昼めし招待するいうから、社員食堂のをごちそうしてくれというたら、びっくりしとった」

「……………」

「ハムエッグ、鯖の生ずし、わけぎのヌタ、それから何やったかな。とにかく、ウチの本社の食堂とメニューは変わらんが、ネタの一つひとつは上等やったぞ」

「……………」

ことはがノドにつかえて出てこない。それが、もどかしい。

そんな不審といらだちを一気にぶちこわすように支局長が笑った。

「なんで、そんな不機嫌な顔をしとるんや。」

「つまり、その、やつつけようという会社でめしを食わしてもらうなんて、不謹慎やないかと——」

「心配すな。むこうの連中にも、めし、おごつてある」

「しかし……………」

「おい、戸波。前にもいうたけどな、今度の仕事、これは兵庫製鉄にケンカ売ると違うんやぜ。住民の被害の実態を世間に広く知らせる。と同時に、会社側の公害対策も、地元の実情も、公平に万遍なく書く。そして、そこから、みんなで公害問題を考えていこう、ということや。」

それは、わかっている。理クツでは、その通りだ。だからといって、書く側と、書かれる側のトップが、つながっているような印象は、やはり不潔感を呼ぶのではないだろうか。

ほんの少しまえ、兵庫製鉄の本社前でみかけた風景が戸波の脳裏で、ジリジリと音を立てて焦げた。

まるで十年の知己に対するように、親しげに語りかけていた花房総務部長。

戸波には見せたこともない、こぼれるような笑顔を振りまいていた亜紀子。

支局長も、それに応えて、愛想よく話しかけていたではないか。

（おれが、潔癖すぎるのか。いや、そんな筈はない）

ふと、一つのこと気付いた。それは、戸波をうるたえさせた。

嫉妬だ。

亜紀子と支局長とが、あんなにも親しげにあいさつを交している——。そのことが、理由のない嫉妬になって反感を呼んでいるのではないか。

その想いを、躍起になって打ち消した。

（惚れてもない女のことで、嫉妬なんてあり得ないじゃないか）

関心は、確かに持っている。でも、それは決して、愛と呼べるものではない——。

「どや、わかってくれたかな」

鼻先で、支局長の細い眼が、笑った。

「え、まあ」

「あ、そうや。もう一つ、忘れとった。例の、えーっと、そうそう、堂本敏夫のことやけどな」

そういうと、支局長は、机上のメモを取り上げた。

堂本——戸波の書いた無罪判決の記事のために前歴がばれ、職を失った男である。

「再就職の口がみつかったんや。それで、本人に連絡して……………」

支局長は、そこで急に口を閉じ、入口の方へ視線を移した。

「噂をすれば、や、本人さんが、いらっしやっただ」

振り返ると、受付に案内された堂本が、入ってくるどころだった。

戸波は、なぜか急に胸を衝かれた。

また髪に白いものがふえたような気がする。表情も、ひどく硬い。

支局長がすすめたソファの一番すみに腰をおろすと、堂本は二人に等分に頭を下げた。それが、ぎこちなく映った。

「いかがですか。ご連絡した勤め口。条件としては、悪くないと思うんですがね」

支局長が問いかける。この男にしては、かなり丁寧な言葉使いだ。

硬い頬のままで、堂本は一呼吸おいた。じつと支局長を見据えたあと、口をひらいた。

「実は、お断りに来たんです」

「……といいますと……」

「いや、内容が不満なのではありません。ご親切は有難いと思うとります」

口調も表情にも、感謝のいろはない。まるで棒読みの科白のように、堂本はつづけた。

「私の方で捜したところへ勤めることにしたからです」

「いや、ちょっと待って下さい」支局長が早口でさえぎった。「そこ、月給、なんぼですか」

堂本の眼が、キラッと光ったように見えた。しかし、それも一瞬のことだったろうか。

「給料は、恐らく、こちらでご紹介していただいた会社の方がいいはずですよ。でも、人間、月給が高けりゃいいということばかりじゃありませんからな」

乾いた口調がつづいた。

堂本の拒絶は、なにを意味するのか。戸波には、痛いほどわかった。

組合運動に傾倒したことがある男だ。自分の職を失わせた新聞社の世話になんか、なりたくない。俗にいえば「けったくそが悪い」からに違いない。

（親子心中でもせえ、というのか）

記事の抗議に来たとき、堂本の吐き出したことばが鮮烈によみがえる。

小さな記事にすぎぬ。しかし、それが彼の生活に及ぼした影響は、測り知れぬほど大きかったに違いない。

戸波の胃袋は音をたてて締めつけられた。

支局長も、同じような直感を持ったのだろうか。

「そりゃどうも。いや、申訳ありません」

ぶしつけに、給料の話などを持ち出したことを率直に恥じ入っている表情である。

「かえって、ご迷惑を……」

この頭の高い男が、深いお辞儀をしている。戸波も、黙って支局長にならった。

顔を上げて堂本を見た。表情は、全く変わっていない。そこに心の傷の深さをのぞいたような想いがした。

「いや、こちらこそ」

相変わらずの棒読みで堂本は少し頭を下げ、そのまま立ち上がった。

「失礼します」

硬い硬い表情のまま背中を向けた。そのやせた背が揺れて消えてゆく。

しらけた沈黙だけが、濃んで、残った。

そのころ――。

兵庫製鉄の役員応接室では、奇妙なドラマが進行していた。

正面に役員クラスが居並んでいる。それに向かい合つて机が三つ。その中央には、花房総務部長、右隣りに小柄な広報課長がひかえている。

「いや、そういう答弁では、具合悪いのではないでしようか」

花房が、猪首をひねりながら主張した。せかせかと汗をふいた。

「公害防止対策のためには、カネは惜しまない、と公言して頂かないと……」

「しかし、だなあ」

中央の和久井社長が、面倒くさそうに制した。

「収益を減らしてまでだよ、公害防止のシカケに投資す

るといのは、キミ、経済界の常識に反するよ。そんなことを新聞屋にしゃべったら、財界で物笑いのタネになるじゃないかね」

「実際には、その通りです。しかし、これは、あくまで

記者会見用の発言、つまり、地元対策用のPRと割切って頂かないと……」

「そんなもんかねえ」

剛直な、攻撃型の社長は、ふっきれない表情で煙草をくわえた。いらだちを押しきれないのか、貧乏ゆすりか激しくなった。

お構いなしに花房は、ことばをつづける。

「現在、総投資額の六割を公害防止にふりむけている、ということですが、これは少なすぎませんか。せめて一割以上にすべきじゃないですか。——こんな質問が出たら、どうされますか」

これは、予行演習であった。

あさって、毎朝新聞の記者たちとの会見がある。そのとき飛び出すであろうあらゆる質問を想定して、ソツのない答弁を検討しておくのがねらいだ。

発案者の花房総務部長が臨時の「記者」になって、いろいろ問を出す。これに対して、社長に常務、専務たちが答弁のアイデアを集めよう、という趣向である。

新しい質問に対して、タカ派の大北専務が身体を乗り出した。

「一〇%以上なんてのは、君イ、無理な話だよ。現在の六%でも、カネにすりゃ六十五億円だ。同業他社で、これだけやっているところはないよ」

うむ、うむというように、和久井社長が大きく背いた。一部は鉄鋼不況時代に投資したものだ。あのときの身を切られるような辛さが、脳裏を走る……。

「ちょっと待ってください」

花房は、また忙しく汗をふき、メモ用のノートをバラバラとめくった。



「そのところはですね。そう遠くない将来10%を目標に努力する。ベレット工場の排煙脱硫装置も近くつけるように予算化を研究中とか何とか、一応前向きに答弁しておかれた方が無難じゃないでしょうか」

「そうかねえ。」

大北専務は、取締役の座まであと一步のところへ迫ったこの切れものの後輩へ、つめたい視線を流した。

大北専務の接してきた新聞記者といえは、企業べつたりの業界紙記者か経済部記者ばかりである。若い、向う見ずの支局の記者というのはテレビで拝見する程度で、見当もつかないのだ。

「こんどの記事は、おそらく、専門家むけじゃなく、住民サイドと称する素人記事でしょう。それだけに、こわい。ヘタすると、ひっかき回されるような気がする。要するに、心証をよくしておくのが一番ですから」

「そりゃわかった。わかったよ。しかし、同業他社は、ウチほど投資しとらんのも事実だ」

「いえ、日本網管が今度、地元と結んだ協定を点検してみますと、結局は一五%の投資が必要ですよ」

「なに、一五%？ そんな無茶な……。」

「たしかに網管の協定は八年後が目標です。しかし、要するに、社会全体が、そういう調子で、つまり公害対策にさらにカネをかけざるを得ないような方向に動いている。それは確認しておかないと……。」

「了解した。次へいこう」

和久井社長が割れ鐘のような声を発した。貧乏ゆすりか、一段と激しくなっている。

大北専務は、しかし、顔を赤くして粘った。

「株主対策は、どうする。公害防止にカネをかけたら、その分だけ減益だ。増収減益で配当もへるとなると、株主も黙っちゃいまいい」

「ちょっと待ってください、これは新聞社用の回答です。現実問題と混同されちゃ話がややこしくなります」

あ、そうだったか、というふうには、専務は鼻の下をこ

ぶしてこすった。

「経営者失格だな」

うめくような社長の声が響く。

「え？、私が、ですか」

「バカ。公害防止にカネかけすぎて配当を減らすようなことになったら、だ」

社長は口をへの字に曲げて上を見上げた。

そこには、歴代社長の肖像写真が並べて掛けである。その黄色く変色した画像は、室内のドラマを皮肉っているようにも見える……。

予行演習の模様を戸波に伝えたのは、またしても細川亜紀子である。

夜も十時近く、夜食でも食べに出ようとしていたとき呼び出しの電話が支局にかかってきたのだった。

生田新道の喫茶店を亜紀子は指定した。まるで須磨海岸のことなど、何もなかったような、カラッとした表情が待っていた。

相変らず、話には臨場感があった。場所が場所だけに亜紀子は声をひそめた。それが余計に、ひめごと、めいて耳に届いた。

「いよいよ、あさって、ね」

まるで、お芝居の初日を待つ女学生のような響きである。

「記者会見、たのしみしていますわ」

「それより、君、どうして、こんなことを俺にしゃべってくれるのかね」

女の瞳の奥を、いや、胸の底の底を覗きこむようにみつめる。

亜紀子は一瞬、ふっと呼吸をとめた。少なくとも、戸波には、そう感じられた。

おそろしく長い沈黙が訪れた。さきに口をひらいたのは、亜紀子だった。

「あなたが、好きだからです」

(つづく)



# 神戸のうまいもん&ドリンキング

## ★日本料理

- 阿なご寿司 **青 辰**  
神戸市生田区元町通3-184  
TEL 331-3435
- 讃岐名代うどん **あこや亭**  
神戸市葺合区旗塚通7-5 TEL 231-6300  
トアロード店 TEL 391-2538  
兵庫駅前店 TEL 575-5306
- 和食 **くれなゐ**  
三宮生田新道浜側中央  
KCBビル2F TEL 331-0494
- かっぱう **花くま**  
神戸市生田区花岡町45  
TEL 341-0240
- 鍋もの・おむすび **悟味西**  
お茶漬・炊きた  
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848  
二宮さんちがタウン TEL 391-5319
- お茶漬・おむすび **ふるり**  
鍋もの  
神戸市生田区北長狭通2の1  
TEL 331-5535
- たこ焼 **たちばな**  
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572
- 北海道郷土料理 **蝦夷**  
神戸市生田区中山手通1丁目115  
生田区東門筋東門会館ビル1階  
TEL 331-7770
- カニ料理 **婆娑羅(ばさら)**  
神戸市生田区北長狭通1丁目18  
三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F  
TEL 321-6363
- レストラン **アポロン**  
ティーパラー  
神戸市葺合区八幡通5丁目6  
TEL 251-3231
- レストラン **轟皮<あらかわ>**  
神戸市生田区中山手2-9  
TEL 221-8547・231-3315
- GALLERY & STEAK HOUSE **SAN-MON 三門**  
神戸市生田区中山手通二丁目98/99  
TEL 331-5817
- ステーキハウス **れんが亭**  
神戸市生田区下山手通2丁目34  
TEL 331-7168
- レストラン **セントジョージ**  
神戸市生田区北野町1丁目130  
TEL 242-1234

## ★西洋料理

- レストラン **男爵**  
神戸市生田区中山手1-18  
山手第一ビル1F TEL 241-0778
- maison de la mode **花屋敷**  
三宮フラワーロード市役所前  
TEL 251-2109
- 鉄板グリル **きやんどの**  
神戸市生田区北長狭通2-22  
TEL 331-1183
- レストラン **キングスアームス**  
神戸市葺合区磯辺通4-61  
TEL 221-3774
- 居酒屋 風れすたらん **井戸のある家**  
生田新道新世紀南  
TEL 331-5664
- レストラン **ムーンライト**  
三宮・生田新道  
TEL 331-9554
- 串かつ店 **和蘭陀屋**  
三宮相互タクシー北入  
TEL 321-0230
- グリル・鉄板焼 **月**  
神戸市生田区北長狭通1-24  
生田神社前 TEL 331-2509
- BARBECUE & STEAK **六段**  
生田区元町通3丁目  
TEL 331-2108
- イタリア料理 **ドンナロイヤ**  
神戸市生田区明石町32  
明海ビル地階 TEL 331-7158
- レストラン **ハイウェイ**  
神戸市生田区下山手2-20  
TEL 331-7622
- ピッツアハウス **ピノッキオ**  
神戸市生田区中山手2-101  
TEL 331-3545
- レストラン **フック東店**  
神戸市生田区栄町1-5-3  
TEL 321-3207
- ピザ&スバゲティ **ガルの店**  
葺合区琴緒町5丁目1-7  
西山ビル1F TEL 241-9025
- レストラン **ミリオナークラブ**  
生田区山本通2丁目50の2  
レストラン 231-9393~5  
メンバーズ 221-1162

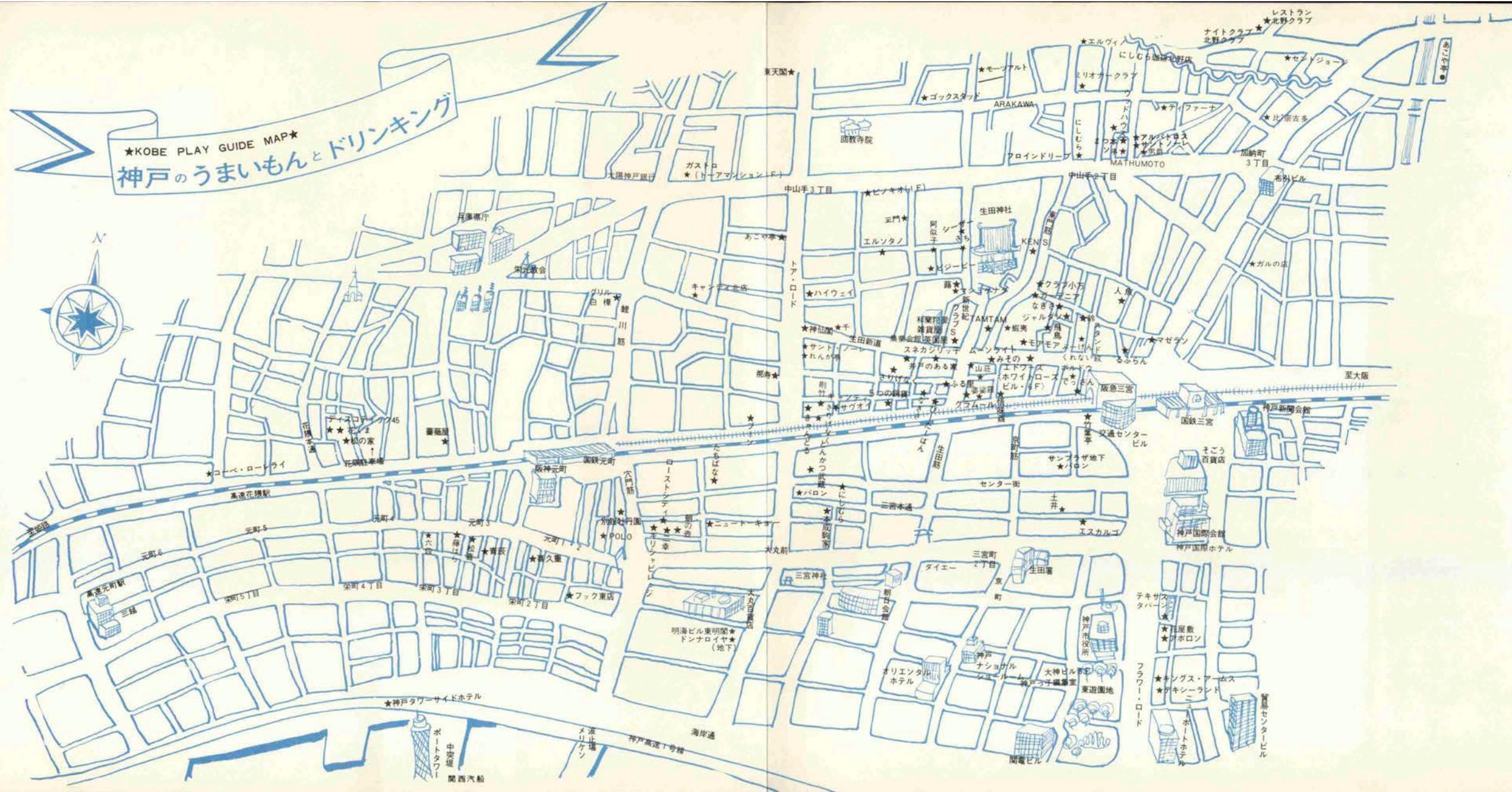
- レストラン **ローストシティ**  
神戸市生田区三宮町3丁目22  
TEL 331-3770
- RESTAURANT & BAR **ゴックスタッド**  
生田区山本通3丁目18 回教寺院前  
TEL 242-0131
- メキシコ小料理亭 **ティファナ**  
神戸市生田区中山手通1丁目4ノ2 パールコーポラスビル1F  
TEL 242-0043
- ドイツ風音楽レストラン **コーベ・ローレイ**  
生田区北長狭通6丁目39  
TEL 371-0086
- ★喫茶 **にしむら珈琲店**  
宮水ビル  
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70  
TEL 221-1872・231-9524  
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35  
TEL 391-0669  
北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467  
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880
- 喫茶・レストラン **バロン**  
神戸三宮サンブラザ地下  
トアロード店 TEL 391-1210
- 喫茶 **ガーディニア**  
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F  
TEL 321-5114
- 珈琲 **モーツァルト**  
神戸市生田区山本通2丁目98 グランドマンション1F  
TEL 241-3961
- ★club **阿以子**  
くらぶ **阿以子**  
神戸市生田区中山手2丁目89  
TEL 331-6069
- club **飛鳥**  
神戸市生田区中山手1丁目117  
TEL 331-7627
- エドワーズ倶楽部 **エドワーズ倶楽部**  
神戸市生田区北長狭通1丁目28  
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300
- club **小万**  
神戸市生田区東門筋中島ビル3F  
TEL 391-0638・4386

- club **さ**  
神戸市生田区中山手通2丁目75  
TEL 331-7120
- club **千**  
神戸市生田区下山手通り2丁目21  
TEL 391-1077
- club **なぎさ**  
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626
- club **藤<ふき>**  
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515
- くらぶ **ぶーげん**  
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F  
TEL 331-8593
- club **Moon Light**  
BAR TEL 331-0886・391-2696  
Club TEL 331-0157
- club **るふらん**  
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854
- ★STAND & SNACK **英国屋**  
スタンド **英国屋**  
生田区下山手通2-6 相互タクシー横  
TEL 331-1100・331-6600
- 洋酒ハウス **雑貨屋**  
生田区下山手通2丁目8の6  
(生田新道相互タクシー横上る) TEL 321-0260
- スタンド **グラムール**  
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637
- SNACK **MATSUMOTO**  
神戸市生田区中山手通1丁目32-3  
曾根ビル1F TEL 241-5470
- カクテルラウンジ **サヴォイ**  
高架山側・テキのお店北  
TEL 331-2615
- DRINKING IS AN ART OF LIFE **ウッドハウス**  
神戸市生田区下山手通1丁目32  
PHONE 078-241-7320
- スナック **ビジービー**  
神戸市生田区中山手2丁目  
TEL 391-4582
- 居酒屋 **ボルドー**  
生田新道浜側中央KCBビル1F  
TEL 331-3575

- スナック **シザー**  
生田神社西門伊藤ビル地下  
TEL 331-1429
- 洋酒の店 **キャンティ**  
神戸市生田区北長狭通2丁目3  
TEL 391-3060・391-3010
- スープ&パン店 **キャンティ北店**  
神戸市生田区下山手通3丁目8-9 TEL 331-3661
- DRINK SNACK **スネカジリッ子**  
神戸市生田区下山手通2丁目  
永晃ビルB1 TEL 391-8708
- Stand&Snack **サントノーレ**  
ティー&ドリンク  
生田区下山手通2丁目トア・ロード  
TEL 391-3822
- Salon de roulette **サントノーレ**  
バンドラ  
ル・レット教室  
神戸市生田区中山手通1丁目24-7  
ダイワナイトプラザ6F TEL 241-1710・221-3886
- 素舌洞 **でっさん**  
神戸市生田区北長狭通1丁目源平寿司3階  
TEL 331-6778
- STAND **マッシュケナダ**  
生田区下山手通2丁目ちよいなタウン地下  
TEL 331-5587
- スナック **GASTRO**  
神戸市生田区中山手通3-20  
トアマンション TEL 231-0723
- スタンド **クラブ・ガーデニア**  
神戸市生田区中山手通1丁目115  
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329
- SNACK **山の手**  
神戸市生田区中山手通1丁目  
ツネビル1F TEL 221-3637
- スナック **比奈古多**  
とよふ料理  
神戸市生田区北野町1丁目143  
Tel. 241-1306
- サロン **アルバトロス**  
生田区中山手通り1丁目24の7  
大和ナイトプラザ1F-B TEL 231-3300
- スナック **エルソタノ**  
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620
- スナック **山荘**  
神戸市生田区北長狭通1丁目22  
TEL 391-5823
- スタンド **紋**  
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1 レンガ筋  
TEL 331-8858

★KOBE PLAY GUIDE MAP★

神戸のうまいもん＆ドリンキング



# balcon antique series

## XX 壺

小林 秀夫さん

〈三菱瓦斯化学KK浪速工場次長〉

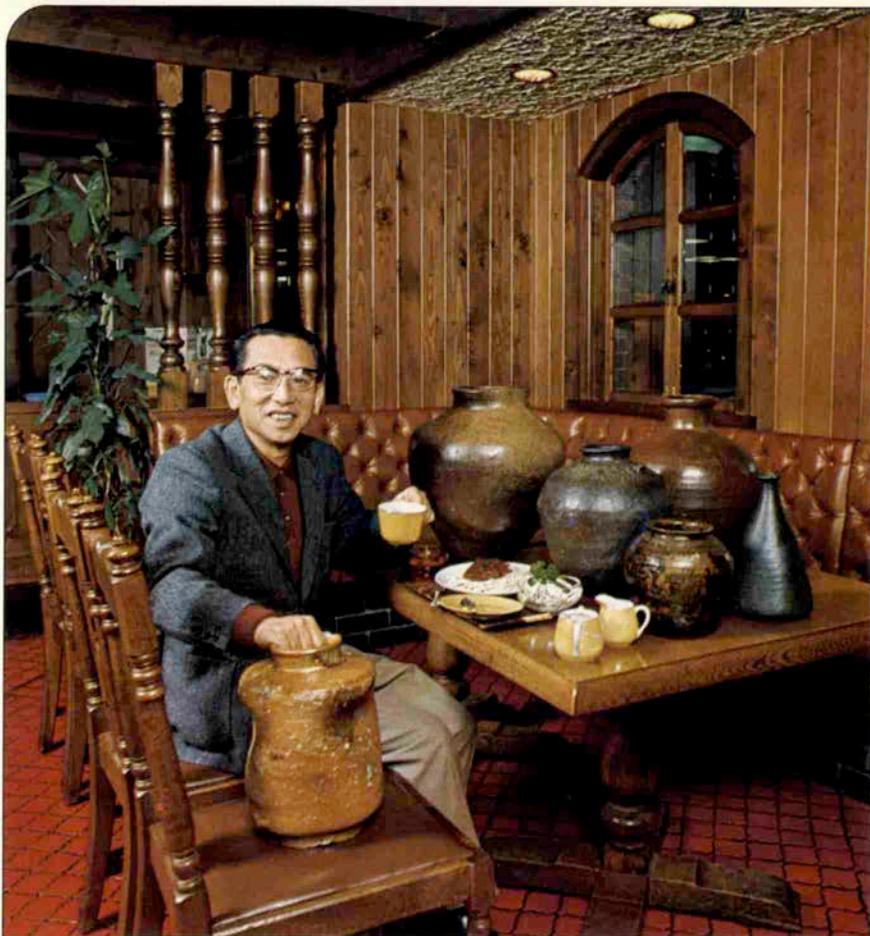
「学生時代から河合寛次郎さんの作品に興味を持っていたのですが仕事に追われ、麻雀に追われて(笑)やっとここ、2、3年来、一直線に六古窯(丹波・信楽・瀬戸・備前・越前・常滑)に親むことができるようになりました。

女房と共に丹波の古陶館をたずねたり、風土のなかからにじみ出る壺の庶民的な暖かさは、仕事を終えて見るとき心にゆたかさを与えてくれます。

バルコンのコーヒーやこの朝食にもそんなファミリーなゆたかさが部屋にも、味にもありますね」

カメラ/米田定蔵

(さんブラザ“バルコン”にて)



# バルコン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店  
TEL 391-1758 AM11:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店  
TEL 391-1210 AM10:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップセンター街店  
TEL 391-1375 AM10:00~PM 9:00迄

●インテリア・ダイアライ May

——クラブ

## やすらぎと 格調と……

新鮮な世界へ  
いざなうような  
花蔦をデザインした  
飾り屏のあるアプローチ。  
室内は、  
人々がリッチな気分で  
くつろげるよう、  
細かな装飾性を避け、  
ゆとりを第一に考えました。



▲c lub "サイセリヤ" (三宮) 設計施工/入船株式会社 担当/長田拓朗

# 入船株式会社

企画・設計・施工のオールマイティ  入船株式会社

神戸市灘区友田町5-2-2(グランド六甲ポウル1・2F) TEL. (078) 851-3191



ドイツ風音楽レストラン

# KOBE Lorelei



ドイツの城を思わせるシャレたインテリア  
お店の中は音楽がいっぱい。ジョッキの  
ふれ合う音が音楽にとけあい“本場ドイツ  
料理”を一段と楽しくさせてくれます。  
ペアでも、グループでも、もちろんお一人様  
でも思いのまま楽しんでいただけます。

生田区北長狭通6(フジモト神戸ビル地階)



■営業時間のご案内

P.M.5:30~A.M.2:00 定休日 月曜日

■パーティにもお気軽にご利用下さい。

電話でのご予約も受付いたしております。

TEL. 371・0086

事務所 生田区中山手1丁目17

TEL. 231・0001

駐車場完備(60台取容可能) 無料

●日本の風土がかもしだす四季おりおりの旬の味覚を存分に  
それも最高の雰囲気でお召し上りいただく季節料理の店が  
誕生しました。



カニ料理「ばさら」



**妻女羅**

電話(078)321-6363

阪急三宮西口北側レインボープラザ1・2F



ホテルレタのたす 直営店



妻女羅定食………七〇〇円

- まぜご飯(かに)
- 焚合せ
- 和へもの
- 赤だし・すいもの
- 香のもの

お好みにより季節の旬の焼魚  
お刺身・茶わん蒸しなどを追  
加いただければ、一層の季節  
感が味わえます。

民世凡の落ち着いた大小の  
お座敷と、お気軽な  
テーブルの御食事処



ビール又は日本酒  
お1人様1本サービス

◎鍋物4名さま以上に

うどんすき……¥ 900より  
寄せ鍋………¥ 1,000より  
すき焼………¥ 1,200より  
しゃぶしゃぶ…¥ 1,200より  
かにちり……¥ 1,200より

■ランチタイム…定食二割引

※御宴会は80名様迄・ご家族  
様の小部屋もございます。

民世凡 お食事処  
鍋物・会席

楽 珍

阪急三宮西口北レインホープラサ3F  
三宮阪急西口店 ☎321-5200(代表)



RESTAURANT & BAR

**GOKSTAD**

生田区山本通 3 丁目  
回教寺院前  
☎ 242-0131



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通 1 丁目32

**WOODHOUSE**

山内ビル  
☎ 241-7320

KOBE DRINKING GUIDE

シャレー TEA & SNACK  
**Chalet**

芦屋市朝日ヶ丘  
芦屋市民プール前  
レックスマンション 1F  
☎ 0797-31-6633



restaurant  
**ダリア**

三宮ビル南館地下 1 階  
(そごう別館)  
☎ 251-7808

